

はじめなきや Part 82

◆環境課

☎ 587 - 6003
FAX 587 - 3834

☆旧の市指定ごみ袋
(シール)は、平成
24年3月31日まで
使えます！

びわ湖の日30周年 びわ湖の環境を 守るために



今から約35年前、びわ湖に赤潮が大規模に発生し、養魚場でアユやコイなどが死に、びわ湖の水を水源とする水道水に異臭が発生したことがありました。その後の調べで、窒素やりんが水中に大量に溶け栄養が過多となつて発生していることがわかりました。いわゆる、〝富栄養化〟という状態でした。

そこで県内では、りんが含まれる合成洗剤の使用をやめ、粉石けんをしようという運動が始まりました。この運動の盛り上がり背景に、滋賀県琵琶湖の富栄養化の防止に関する条例が1980(昭和55)年7月1日に発効しま

した。これは、富栄養化の原因となる窒素、りんの排出規制などを定めたもので、県民の運動から法的な規制にまで発展した、環境政策では画期的な出来事で、「環境先進県」といわれました。この翌年から、7月1日を「びわ湖の日」として、県内各地でさまざまな取り組みが行われてきました。

びわ湖の日30周年となる今年、赤潮はほとんど見られなくなりしましたが、びわ湖を取り巻く水環境は画期的に改善されたというわけではありません。野洲市を流れる河川はすべてびわ湖に注ぎ込みます。私たち一人ひとりが今で



あやめ浜まつり



魚のゆりかご水田



廃食油の回収



家棟川の清掃

審議会を開催！

審議会は公開です。傍聴を希望する人は、できるだけ前日までにお申し込みください。

◇廃棄物減量等推進審議会

日時…7月5日(火)午後2時～
内容(予定)…一般廃棄物(ごみ)処理基本計画の見直しについて

◇環境審議会

日時…7月8日(金)午後2時～
内容(予定)…野洲市環境基本計画の中間見直しについて(諮問)

○会場はいずれも市役所本館3階第1委員会室です。

申し込み・問い合わせ…環境課 ☎ 587 - 6003、FAX 587 - 3834

毎月第4土曜は 廃食油回収の日

7月23日(土) 午前10時～正午

回収会場：市役所別館横電話ボックス付近
回収物：廃食油、牛乳パック、アルミ缶
問環境課 ☎ 587 - 6003、エコロジーマーケットやすの会・増村 ☎ 586 - 1441

歴史の小窓

—学芸員のメッセージ—

(82)

歴史民俗博物館

☎587-4410、Fax587-4413

【7月の休館日】月曜・火曜日 ※18日は祝日開館

◆テーマ展「出土品にみる中世のくらし」

／7月2日(土)～9月23日(祝)

※展示解説7月30日(土)午後2時～

◆第3回弥生の森写真展「ふおれすとフォトギャラリー」／8月31日(水)まで

※展示作品受付中

◆弥生の森七夕のつどい／7月7日(木)午前10時～11時30分 ※参加費300円、電話で申込受付・先着親子20組

◆第66回銅鐸研究会「弥生時代の青銅器生産と銅鐸」／7月9日(土)午後2時～4時

講師…北井利幸さん(奈良県立橿原考古学研究所附属博物館) ※当日受付・先着120人

◆古代体験教室「鑄造体験～アクセサリを作ろう」／8月6日(土)午後2時～4時

※参加費500円、電話で申込受付・先着20人

◆古代のハス「大賀ハス」／7月下旬頃まで開花

富波遺跡出土の中世備蓄銭

平成元年度に発掘調査が行われた富波遺跡内の小字「古トバ」において、多量の鎌倉時代の銅銭が出土しました。出土したのは、短径0.5m、長径1mの楕円形の範囲内で、深さは約0.4mを測ります。この中の一面に銅銭が紐に通した状態で、まとまって出土しました。およそ20cm四方の狭い範囲に銅銭があつたので、木箱に入れて埋納されていたと思われまゝ。銅銭は重なり合っているのですが、銭種が読み取れませんが、天禧通宝(北宋銭)、開元通宝(唐銭)



開元通宝

は確認することができました。納められている銅銭は、通例は中国の北宋銭が主だったものです。北宋銭には皇宗通宝、元豊通宝、熙寧元宝など西暦960年

1126年までに鑄造された40種類の銭種が知られています。日本への北宋銭等の流入は、12世紀に始まり16世紀まで続きます。その間の中国銭貨(北宋銭を主に明銭、唐銭)の輸入量は莫大なものです。1976(昭和51)年に韓国西南部の本浦から引き上げられた、14世紀の貿易船「新安」には、日本へ向けての銅銭が28トン積み込まれていました。銅銭は、枚数に換算すると約800万枚に相当します。

独自に貨幣を発行していません。事実上、中世の日本では、北宋銭等が日本の通貨になっていたと考えられます。ところで、日本国内で出土した中世の備蓄銭(12～16世紀)は、発掘調査によるものと偶然発見されたものをあわせると、およそ352万枚です。(平成10年統計資料)このうち、北宋銭が77%、永樂通宝、洪武通宝等の明銭が9%、開元通宝、乾元重宝の唐銭が8%です。

備蓄銭も、一枚一枚を切り離して銭種を調べてみれば、おそらくこのような銭貨の組み合わせになると思われる、これらを所有していたのは、在地の有力者層と考えられます。博物館では7月2日(土)～9月23日(祝)、テーマ展「出土品にみる中世のくらし」を開催します。中世銭貨や瀬戸の焼物、和鏡、茶道具など市内で出土した品々を通して、中世のくらしを感じ取っていただければ幸いです。

(博物館学芸員 徳網克己)



出土した銅銭